

平成23年度 福岡市学習定着度に関する調査結果について

12月1日(木)第4・6学年実施

1. 学習定着度調査結果

福岡市では、全国標準と対比して「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」というコメントで各学校の調査結果をお知らせしています。

教科	4年	6年
国語	本校の正答率は、全国標準と同程度です。 ・資料を使って話すときの順番や相手に伝わる話し方（話す・聞く能力）に課題があります。	本校の正答率は、全国標準を上回っています。 ・短文や俳句の形式理解（言語事項）に課題があります。
算数	本校の正答率は努力を要します。 ・図形の意味や数の仕組み（知識・理解）、数と計算（技能）に課題があります。	本校の正答率は、全国標準をやや上回っています。 ・向きが正反対の拡大図の対応する角や辺の長さを求めること（知識・理解）に課題があります。
社会	本校の正答率は、全国標準をやや上回っています。 ・緊急連絡の仕組みや学校内の消防設備など安全な暮らしを守るための仕組みの理解（知識・理解）に課題があります。	本校の正答率は、全国標準をやや上回っています。 ・農家の人口と米の生産量の変化のグラフの読み取りや工業地帯の多くが海に面している理由を述べること（資料活用）に課題があります。
理科	本校の正答率は、全国標準と同程度です。 ・骨や筋肉のはたらきについての理解や適切な説明（知識・理解）に課題があります。	本校の正答率は、全国標準をやや上回っています。 ・並列つなぎの電気回路図を書くこと（知識・理解）に課題があります。

2. 今後の取組について

思考力と表現力を向上させるために、授業で「考える・判断する・伝える」活動を重視します。チャレンジタイムやモジュール学習で、漢字の習得や計算力の向上、基礎・基本の定着を図ります。今回の調査で誤答や無答の多い問題について、全体指導とともに個別指導を行います。保護者と連携し、家庭で勉強する習慣をつくり、家庭学習の定着をめざします。